



ほうかつだより

第6号 令和3年6月発行

薬

と上手に付き合おうために



ポリファーマシーにご注意！！

多くの薬を服用することにより副作用などの有害事象を起こすことをポリファーマシーといいます。

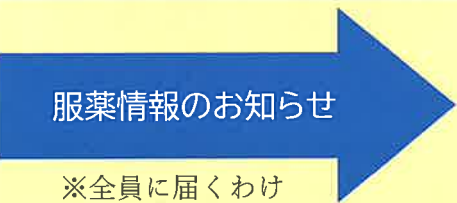
高齢者になると、複数の病気を持つ人が増え、処方される薬も多くなる場合があります。処方される薬が6種類以上になると、ふらつき・転倒、物忘れ等の有害事象を起こす人が増えることが分かっています。



広島市から送られてくる「服薬情報のお知らせ」を活用しましょう

服薬情報のお知らせ

※全員に届くわけ
ではありません



「服薬情報のお知らせ」が届いたら、薬局や病院へ持って行きましょう。薬剤師や医師が「重複している薬がないか」「飲み合わせの悪い薬がないか」を確認します。必要な場合は薬の調整の提案をします。



併せて活用！「お薬手帳」

複数ある方は1冊にまとめましょう。



まちの 薬剤師さんに 聞いてみた



事があればまずはかかりつけの薬局・薬剤師にご相談ください。薬局では普段の様子など分からないこともあるため、患者さんご本人からのお話や、ご家族やケアマネジャーさんなどからの情報はとてもありがたいです。ぜひ世間話をしていってください。

普段は薬局で仕事を行っていますが、医師に付いて往診にも行っています。ご自宅に伺うと、生活の様子やお薬の管理状況などがよく分かります。

飲まれている薬が多いと不安に思われるかもしれませんが、必要な人ももちろんいます。薬の調整は、副作用の有無や服薬状況も含めて検討していく必要があるため、気になる



ふかわ薬局 管理薬剤師 安本哲志さん ご協力ありがとうございました



インターネットでの研修会開催にも挑戦しています！

昨年度から、コロナ禍で対面での研修や会議開催が難しくなり、インターネットでの開催が多くなりました。高陽包括でもネットで研修を受ける機会が増え、受講者としてはだいぶこなれてきたかな、という感じです。

今年度は、いよいよ主催者側にも挑戦していこうと企画・準備中です。不慣れなため、ご不便をおかけすることもあるかもしれませんが、温かい気持ちでご参加いただければと思います。

6/11・14 認知症サポーター養成講座
(明治牛乳高陽宅配センター 配達員向け)

6/18 多職種協働ネットワーク会議

他、介護支援専門員研修会など企画中です。



松島美智子の子育て親育ち

うちには息子が二人います。この春、下の息子が小学校に入学しました。やわらかい小さな手を握り保育園に通った日々がすでに懐かしく感じられます。入学後のバタバタも少し落ち着き、以前とは比べ物にならないくらい手がかからなくなりました。すると、こうやって手を離れていくんだな…。さみしい！もったいない！！そんな焦りにも似た思いに駆られ始めました。時間ができるとつつい家の(自分の)

用事をしてしまうのですが、なるべく一緒に過ごして悲喜こもごもをともに感じていきたいです。コロナが落ち着いたら家族で旅行に行きたいな。まだまだ離さないぞ！



手洗い・マスク・
咳エチケットに
三密を避けて、
散歩など適度な運動で
健康を維持しましょう。



一人で悩まず
相談しよう！



「海らそう犯罪」広島県民はぐるみ運動
マスコットキャラクター「モンカ」

新型コロナワクチンに 便乗した詐欺にご注意！！

「ワクチンが優先的に接種できる」「後日全額返金されるので10万円振り込むように」などの電話にご注意ください！！市町など行政機関が、ワクチン接種のために、金銭や個人情報を電話やメールで求めることは絶対にありません！

